

I	がん性疼痛の発生機序	橋口 さおり	1
II	がん性疼痛に使用される薬物		11
	1. NSAIDs	鈴木 孝浩	12
	2. アセトアミノフェン	伊原 奈帆	19
	3. コルチコステロイド	田邊 豊	25
	4. オピオイド		32
	A. 弱オピオイド	鈴木 正寛	32
	i. コデイン (リン酸コデイン)		32
	ii. ジヒドロコデイン (リン酸ジヒドロコデイン)		34
	B. 拮抗性鎮痛薬	井手 康雄	36
	i. 拮抗性鎮痛薬とは		36
	ii. ペンタゾシン		37
	iii. ブプレノルフィン		39
	C. 強オピオイド		45
	i. モルヒネ製剤	山本 兼二、平林 高暢、間宮 敬子	45
	ii. オキシコドン	松田 陽一	54
	iii. フェンタニル	松田 洋祐、林 章敏	58
	iv. タペンタドール	佐藤 哲観	71
	v. ヒドロモルフォン	余宮 きのみ	84
	vi. メサドン	久保田 敬乃	95
	5. がん性疼痛における漢方治療	世良田 和幸	110
III	オピオイド		117
	1. がん性疼痛におけるオピオイドの使い方と 基本概念	下山 直人、下山 恵美	118
	2. オピオイドの副作用とその対処	山口 敬介	136

3. オピオイドが効きにくい痛みとその治療法	147
A. 神経障害性疼痛	住谷 昌彦、阿部 博昭、小西 満 147
B. 骨転移	清水口 卓也、伊藤 慶 157
C. オピオイド受容体遺伝子を含む関連遺伝子とオピオイド感受性	
—がん性疼痛オピオイド治療の将来へ向けて	林田 眞和、西澤 大輔、池田 和隆 164

IV 鎮痛補助薬 169

1. 抗うつ薬	益田 律子 170
2. 抗不安薬	田邊 豊 185
3. 抗痙攣薬	有田 英子 192
4. 抗不整脈薬	栗山 俊之、川股 知之 204
5. NMDA 受容体拮抗薬	水野 樹 210
6. 局所麻酔薬、その他	石田 高志、川真田 樹人 224

V がん性疼痛に対する各種療法 233

1. 神経ブロック療法	234
A. 交感神経ブロック	安部 洋一郎 234
B. 知覚神経ブロック	都築 有美、石田 裕介、大瀬戸 清茂 248
2. 脊髄鎮痛法：硬膜外鎮痛法、脊髄くも膜下鎮痛法	服部 政治、前 知子 258
3. 持続皮下注射法	沼田 祐貴、濱口 眞輔 274
4. 持続静脈内注射法	上原 優子、水嶋 章郎、井関 雅子 280

索引	287
----	-----